

経営学専攻

ビジネス・マネジャーや
会計スペシャリスト等の人材の育成

詳しい情報はコチラ!



専攻の紹介

本専攻は、研究者や教育者の育成のみならず、経営や会計に関する高度の専門知識を有する「ビジネス・マネジャー」や「会計スペシャリスト」の養成を目指しています。特に、自らのキャリアを発展させようとしている人の研究課題を広くサポートします。

本専攻に修学する大学院生には、年齢、出身大学、社会経験において多様性がみられます。また税理士の国家資格取得をめざす社会人学生も在籍し、卒業後は現在勤務している事務所や企業に戻ったり、税理士の資格取得後に独立したりして、広く社会で活躍しています。

理念・目的

キリスト教による人格教育を基礎として、経営学の理論及び応用を教授し、専攻分野の研究能力を養うことによって、研究者、教員、専門職、企業人など幅広い人材を育成し、社会の進展に寄与する。

1. 研究者・教育者の育成だけでなく、経営に関する高度な専門知識（会計スペシャリスト）、及びマネジメント能力（ビジネス・マネジャー）を有する職業人も養成する。
2. 経験を理論化しようとする人、解決しなければならない問題を抱えている人及び自らのキャリアを発展させようとしている人の研究課題をサポートする。

教育目標

主指導教員及び副指導教員による教育の下、広い分野の学識を授け、高度の専門性を要する職業等に必要能力又は専攻分野における研究能力を養う。

1. 修士論文を完成させる過程において、高度な専門知識を獲得するように指導する。
2. 企業経営者、組織体の管理者に必要な倫理、構想力、問題解決能力を育成する。
3. 古典的文献を通じた幅広い領域の理解、及び基本的な概念の把握により、体系的に経営理論を学ばせる。

教員からのメッセージ

おかだ こういちろう
経営学専攻主任 岡田 耕一郎 先生



大学院では、それぞれが抱いた疑問や問題を、専門的な知識に基づいて、深く探求し解決できるようになることを目指します。そのためには、学部での概論的な学習を越えた高度な専門知識を身につけることが必要です。高度な専門知識を得るには、その学問領域の専門書や既存の研究論文などの講読、分析を通して、応用可能なレベルにまで知識を引き上げることが必要となります。それにもとづいて、自らの疑問や問題を解明すべく研究する一仮説を構築し検証する一ことが求められます。つまり、それを研究することの意義は何か（意義）、それを解決するためには何が必要なのか（要件）、問題を解決することによって何が得られるのか（効果）を演習や論文の作成を通して明らかにしていきます。

このような深い思考は、研究者を目指す人だけではなく、経営のプロフェッショナルや会計スペシャリストを目指す人たちにとっても非常に重要なことです。教科書通りにはいかない現実社会の様々な問題に対処する思考能力と問題解決能力を大学院で身につけませんか？

修了生からのコメント

ビジネス・マネジャーとして活躍するOB

さとう ちづる
佐藤 千鶴 さん

（国公立大学教育学部卒業。東北学院大学経営学専攻で修士号取得。現在、宮城県内に4店舗を展開するイタリアンレストラン・チェーン「プレアグループ」の経営に参加）



私は、宮城県内の国公立大学教育学部の出身ですが、大学卒業後、実家のレストラン・グループの経営と現場実務に携わる中で、経営学を学ぶ必要性を強く感じ、大学院経営学専攻に入学しました。

経営者の中には経営学の理論は現実の経営には役に立たないとおっしゃる方もいますが、私自身は、理論を学んだうえで実務を行うことが、優れた経営につながるかと考えています。特に飲食サービス業では日々の業務に忙殺されてしまいますので、大学院で学んだ2年間は自分の企業や仕事を客観的かつ広い視点から見直す良い機会になりました。マーケティングや経営戦略の視点そして数値管理などを自社の経営に積極的に取り入れ始めたのは、大学院での理論への学びがキッカケになりました。

研究科の先生方には、講義はもちろん、実務上の問題についても色々相談に乗っていただきましたし、また大学院で知り合った会計の専門家や社会経験豊かな同級生たちとの関係も大学院で得た貴重な財産の1つです。

起業を目指す方、多店舗展開や事業多角化など新たな事業展開を目指す方、また経営の現場で問題や課題を抱え悩んでいる方は、大学院での学びから得られるものは多いと思います。

修了生からのコメント

会計スペシャリストとして活躍するOB

ささき よう
佐々木 陽 さん

（私立大学商学部卒業。東北学院大学経営学専攻で修士号取得。現在、税理士法人に勤務）



私は、現在、引き続き、税理士法人に勤務しております。大学院では、職業会計人になることを目標に、税法を専攻していました。大学院生の時には、昼は税理士法人で仕事をし、夜間と週末を利用して大学院に通いました。

大学院は、自らが持った疑問について、自ら調べ、考え、結論を導き出すところです。より具体的には、教員の指導下で、2年間の研究計画を立て、計画に沿って文献や資料を収集し、その成果を「修士論文」としてまとめ上げます。自ら主体的に論文を書き上げることによって、専門知識を深めるとともに、日々の業務において直面する問題や課題に対し、自ら考え、そして解決する能力を養うことができました。

東北学院大学経営学専攻は、特に税法や会計学分野の先生方が多数いらっしゃいましたので、様々な観点から修士論文に対するアドバイスをいただきましたし、また実務上の問題などについても色々御相談させていただきました。

経営学専攻での2年間の学びから得た知識と経験は、私にとって貴重な財産であり、また自らの可能性を広げ、今後の人生をより豊かにしてくれるものであると考えています。



研究領域／研究分野

- 経営学特講、経営史特講、経営管理論特講、経営統計論特講、情報処理論特講、経営組織論特講、国際経営論特講、人的資源管理論特講、商業史特講、流通論特講、経営戦略論特講、ファイナンス特講、など
- 財務会計論特講、国際会計論特講、管理会計論特講、原価計算論特講、税務会計論特講、租税法特講、監査論特講など

時間割の例

会計スペシャリストを目指すAさんの場合

夜間開講科目

	1限目 (8:45~)	2限目 (10:45~)	3限目 (13:15~)	4限目 (15:00~)	5限目 (16:45~)	6限目 (18:25~)	7限目 (20:05~)
月							
火						国際会計論 特講	
水							
木						経営学特講	
金						外国経営書 研究(仏語)	
土		税務会計論 特講	租税法演習	租税法特講 義	研究科論文 指導	☆特別講義	

ここに注目！ 夜間と土曜日の講義を集中的(逆L字型)に履修することで、仕事との両立も不可能ではありません。

担当教員・研究テーマ

■ 経営戦略論 秋池 篤

製品デザインが経営戦略に及ぼす影響に関する研究

■ 介護サービス組織の経営管理 岡田 耕一郎

小集団型の介護サービス組織とサービスシステムの管理、日本とスウェーデンの介護サービス組織の比較

■ 経営管理論 折橋 伸哉

日本の国際競争力の最大の源泉であるといっても過言でないものづくりマネジメントについて考察し、その国際的な適用可能性についても追究する

■ 租税論 小池 和彰

給与と所得者の必要経費及び租税支出の研究

■ 国際会計論 古賀 裕也

日本企業の会計行動に関する実証研究、IFRS適用に関する実証研究

■ 日本の江戸時代～明治時代の商業流通史 齋藤 善之

海運・流通・市場・商人ならびに商家経営の歴史研究

■ 監査論 佐久間 義浩

財務諸表監査の経済的機能

■ 管理会計論、原価計算論 佐々木 郁子

BtoB、BtoC、震災

■ 日本経営史、雇用関係史・労働史 菅山 真次

日本的雇用関係の形成と展開、ホワイトカラー層の歴史分析、就職の歴史

■ 人的資源管理論 鈴木 好和

人的資源管理とインターナル・マーケティングの研究

■ 数値計算、アルゴリズム開発、プログラミング、シミュレーション 根市 一志

データ解析のためのプログラム、アルゴリズムの開発
モンテカルロシミュレーションのためのプログラム開発

■ 戦略的管理会計 松岡 孝介

管理会計とマーケティングの関連性

■ 実証ファイナンス 松村 尚彦

行動ファイナンスの視点から、株価形成について実証的に分析をする。

■ 国際経営論 村山 貴俊

①清涼飲料会社の国際戦略に関する実証研究
②多国籍企業と対外直接投資に関する理論研究

■ CSR (企業の社会的責任) とコーポレート・ガバナンス(CG) 矢口 義教

イギリスを中心とするEU各国のCSRとCGの比較研究、東日本大震災時と復興過程におけるCSRの役割